

# シニアのパワーで地域を元気に

神奈川県川崎市	● 活動名	● 関係する学校名
	遊びと学びの寺子屋	川崎市立中野島小学校

開始年度	平成 26 年度	学級数	32 学級	児童・生徒数	887 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> スポーツ活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術活動 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習・伝統文化 <input checked="" type="checkbox"/> その他(補習的学習)				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数	地域学校協働活動推進員の数	配置人数	連携団体・企業等	日本女子大学
ボランティアの数	登録人数	属性			
参考 URL	http://www.city.kawasaki.jp/880/category/10-14-0-0-0-0-0-0-0.html				

● 体制図

中野島小学校「遊びと学びの寺子屋」

- ★学習支援教室
  - 寺子屋先生による指導
  - 独自の教材開発
  - 定時放課後に実施
  - 低学年、高学年クラス
- ★体験学習・世代間交流
  - シニア世代、企業、大学などの社会資源活用
  - 社会を知る体験と多世代交流の機会を演出
- ★寺子屋事業コーディネーター、スタッフ
  - 中野島小学校保護者への事業案内、参加者募集
  - 実施日受付、保護者との連絡、わくわくと連携
  - 振り返り
  - 実施記録

協働・協力関係

- 中野島小学校
- 中野島町会(4800世帯)体験学習チラシ配布等
- 多摩区役所(学校支援センター)、多摩市民館
- 多摩区まちづくり協議会、区内の市民活動団体

● 連絡先 川崎市教育委員会事務局生涯学習推進課 ☎ 044-200-3309

● 活動の概要・経緯

○事業の運営を担う「NPO法人かわさき創造プロジェクト」は、本市が2005年に開催した「シニア地域活動モデル創造ワークショップ」の受講者が立ち上げた団体であり、シニア世代に地域参加の機会と場を提供し、豊かなシニアライフの構築と市民生活向上に寄与することを目的に活動している団体である。

○市内学校のPC授業のサポートや、地域のシニア世代を対象にした事業、当該校での特別活動室の開放管理や特別活動室を活用した生涯学習事業の実施など、中野島地域を中心に市内で幅広い活動の実績があり、平成26年度に本市が土曜日の教育活動の枠により「地域の寺子屋事業」を立ち上げるにあたり、立ち上げ初年度のモデル事業として、当該事業に取り組むこととなった。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

- 小学校の施設を活用しながら、放課後の学習支援と、土曜日に行う体験活動をセットで実施している。
- 放課後の学習では、退職教員や地域の方が「寺子屋先生」となり、導入時は個別課題として宿題やプリント学習のサポートを行う。学習では、寺子屋先生の特技を活かし、子供の知的好奇心を引き出す数理的なマジック等で楽しく、面白い時間を演出。複数の学年で一緒に考えるパズル、課題、興味ある問題を行うなど、子供たちの興味と関心を引き出し、学びへの意欲と態度を養う活動を展開している。
- 土曜日の体験活動では、「多世代の交流と学び合いの場をつくる」ことを方針として、地域にも広く参加を呼びかけ、地域のシニア世代や大学などの社会資源を活用しながら、昔遊び、絵画、切り絵、スノードームづくり、料理、落語など様々なプログラムを実施している。

### 【実施にあたっての工夫】

- 放課後の学習教室では「学校の7時間目でも塾でもない場」を合言葉に、学校の授業ではなかなか取り組めない、クイズやパズル的な問題を解く楽しさを体験させることを大切にしている。子供たちの数学的な思考を養い、漢字の始まりを子供と一緒に学ぶことを通じて興味や関心を培っている。感動や達成感を通して、子供たちの自主性、自発性を育て、また学習が習慣化するためのきっかけとなる場を目指して、活動している。
- 地域と学校が連携・協働した基盤的な活動として本市が実施している「学校支援センター」と連携し、退職教員が地域の方たちに子供への接し方や学習への関わり方のコツを伝授しながら、事業実施後の振り返りを丁寧に行い、より充実した活動となるように工夫している。
- 体験活動では、モノづくりなどの体験を通して、地域の方たちとの関わりに関心をもってもらい、保護者も含めた多世代で交流し、学び合える場となることを目指している。

## ● 事業を実施しての効果・成果

- 参加した子供からは「親や先生以外の大人と話げできた」「勉強が好きになった」「学校や家では勉強できないこと教えてもらった」「勇気を出して手を上げられるようになった」「今までにしたことがない事をしたのですごく面白かった」という声が出ている。
- 寺子屋先生と地域の大人も毎回振り返りの時間をもち、よりよい活動の場となるように工夫を重ね、学びの場ともなっている。
- 保護者からは「地域の方と交流できた」「親子で楽しめた」「子供のいつもと違う笑顔が見られた」「学習の習慣が身についた」「寺子屋や学校のことを自分から話すようになった」「自分で考えるようになった」「以前より人の話を聞くようになった」という声があげられている。

## ● その他

地元の団体以外にも、NPO法人や株式会社、地元キャンパスを構える日本女子大学などの協力も得て、多彩なプログラムを実施しています。



学習支援教室。最初の学習日。一人一人が自己紹介をする。



体験学習・世代間交流。牛乳パックを使う竹とんぼ作り。

ポイント

「学校の7時間目でも塾でもない」この事業の肝の部分が全体に共有されているところが素晴らしいです。多彩な方々との関係づくりがなされているところも示唆に富みます。